

## 参考資料：有効性評価におけるシーケンスシンボルの意味

重大事故対策の有効性評価においては、以下のシーケンスシンボルを組み合わせることで重大事故のシナリオを表す事がある。

例えばシナリオ名「T Q U V」は、過渡事象が発生（T）し、給水機能が喪失（Q）、高圧注水に失敗（U）し、減圧には成功するが、低圧注水に失敗（V）するシナリオを表す。

シンボル	意味
T	過渡事象（注1）発生
C	原子炉保護系喪失（原子炉スクラム失敗）
Q	給水機能喪失
U	高圧注水機能喪失
X	原子炉減圧機能喪失
V	低圧注水機能喪失
B	全交流電源喪失
D	全直流電源喪失
P	逃し安全弁再閉失敗
W	除熱機能喪失
A	大破断 L O C A（注2）
S <sub>1</sub> , S <sub>2</sub>	中小破断 L O C A（注2）

（注1）過渡事象（運転時の異常な過渡変化の想定事象）

制御されずに放置すると炉心あるいは原子炉冷却材圧力バウンダリに過度の損傷をもたらす可能性のある事象

例：制御棒の異常引き抜き、主蒸気隔離弁の誤閉止、給水流量の全喪失など

（注2）L O C A（Loss Of Coolant Accident）：冷却材喪失事故